

# 令和4年度事業報告書

社会福祉法人宇都宮市社会福祉協議会

## 目次

○ 総括	1
○ 事業の実施状況	
1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり	2
(1) バリアフリーやノーマライゼーションへの理解を深める福祉共育の支援	2
① 出前福祉共育講座の充実	2
② 地区福祉まつり支援の充実	2
③ 宇都宮市民福祉の祭典支援の充実	3
④ やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会支援の充実	4
(2) 気軽に参加・参画できるボランティア活動の充実	4
① 赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動の推進	4
ア. 赤い羽根共同募金運動	4
イ. 歳末たすけあい募金運動	4
ウ. 歳末たすけあい募金配分事業	5
エ. 歳末たすけあい事業配分委員会の開催	5
② ボランティアセンター機能の充実	5
ア. ボランティアの相談・登録・調整の充実	5
イ. ボランティア団体への活動支援の推進	5
③ ボランティア養成の充実	7
ア. ボランティア入門講座（ぼらんていあ Saturday）	7
イ. 学生ボランティアの養成（サマーボランティアスクール）	8
ウ. 災害福祉救援ボランティア養成講座	8
エ. 災害福祉救援ボランティアフォローアップ講座	9
オ. 傾聴ボランティア養成講座	9
カ. 福祉共育サポーター養成講座	10
④ 善意銀行事業の推進	11
ア. 金銭の預託、払い出し	11
イ. 物品の預託、払い出し	11
⑤ 宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の推進	12
(3) 災害ボランティア活動の実施	12
① 災害時の連携体制の構築に向けた取組み	12
② 危機管理体制の強化	13
③ 宇都宮市総合防災訓練への参加	13
(4) 幅広い世代が地域で活躍できる機会づくり	14
① ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の充実	14
② 食中毒・食品衛生講習会の開催	14
③ ふれあい・いきいきサロン事業の推進	14
④ ふれあい・いきいきサロン連絡会研修会の開催	15
⑤ 男性高齢者調理講習会事業の支援	16
2. 安心して暮らせる福祉の基盤づくり	16
(1) 地域福祉・ボランティアなどに関する情報発信の強化	16
① 広報紙「社協だより」の発行	16
② ホームページの充実	16
③ 福祉に関する情報発信機能の充実	17
④ 地区社協広報紙の発行助成	17

(2) 生活・福祉に関する相談支援体制の充実	18
①日常生活自立支援事業「あすてらす事業」の実施	18
②法人後見事業の実施	18
③総合相談センター（心配ごと・悩みごと相談センター）事業の充実	19
④生活困窮者自立相談支援事業の実施	20
⑤地域包括支援センター事業の充実	21
ア. 地域包括支援センター御本丸	21
イ. 上河内地域包括支援センター	22
3. とともに支えあう地域社会づくり	23
(1) 身近な地域の中での市民相互の支えあい・助けあい活動の充実	23
①地区社会福祉協議会支援の充実	23
②地区社会福祉協議会会長研修会の開催	24
③福祉協力員制度の推進	24
④ブロック別福祉協力員表彰式・研修会の開催	25
⑤地域共生社会推進事業の実施	26
⑥安心・安全情報キット配付事業の推進	26
⑦宇都宮市宮っこの居場所応援連絡会への参加	27
⑧子ども・若者育成推進事業（モデル事業）の実施	27
⑨ファミリーケアサービス事業の充実	28
⑩老人クラブ支援の充実	28
⑪敬老会開催の支援	28
⑫援護事業の実施	29
⑬社会福祉資金貸付事業	29
⑭各種事業に対する後援・共催	29
(2) 将来を見据えた地域における福祉の基盤づくりの支援	30
①第4次宇都宮市地域福祉活動計画の推進と第5次宇都宮市地域福祉活動計画の策定	30
②「作業部会」、「検討委員会」、地域福祉事業運営委員会の開催	30
ア. 作業部会の開催	30
イ. 検討委員会の開催	31
ウ. 地域福祉事業運営委員会の開催	31
③福祉のまちづくり計画（小地域福祉活動計画）の策定及び推進の支援	31
4. 在宅福祉サービス事業の推進	32
(1) 様々なニーズに応じたサービスの提	32
①福祉機器（車いすなど）貸出事業の推進	32
②福祉理美容出張費補助サービス事業の推進	32
③ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進	32
④福祉機器・介護用品展示室の開設	33
5. 組織体制の強化	33
(1) 会務の運営	33
①理事会の開催	33
②監事会の開催	34
③評議員会の開催	34
④評議員選任・解任委員会の開催	35
(2) 苦情解決体制	35
①第三者委員会の開催	35

(3) 地区社会福祉協議会との連携強化	35
①地区社会福祉協議会会長会議の開催	35
②ブロック別地区社会福祉協議会会長会議の開催	36
(4) 職員の育成	36
①職員研修の実施	36
6. 自主財源の確保	37
(1) 社会福祉協議会会員制度の充実	37
(2) ぎんなん基金事業の充実	37
①ぎんなん基金の運用	37
②ぎんなん基金運営委員会の開催	38
7. 介護保険事業等の推進	38
(1) 訪問介護事業所の運営	38
①訪問介護事業	38
②介護予防訪問介護事業	38
(2) 通所介護事業所の運営	39
①通所介護事業	39
②介護予防通所介護事業	39
(3) 居宅介護支援事業所の運営	40
①居宅介護支援事業	40
(4) 障がい福祉サービス事業の運営	40
(5) 特定相談支援事業所の運営	40
8. 指定管理施設の管理・経営	41
(1) 総合福祉センターの管理・経営(2施設)	41
①宇都宮市総合福祉センター	41
②河内総合福祉センター	41
(2) 老人福祉センターの管理・経営(5施設)	42
①ことぶき会館	42
②ふれあい荘	43
③やすらぎ荘	44
④すこやか荘	45
⑤上河内	46
(3) 地域活動支援センターの管理・経営(3施設)	47
①雀の宮作業所	47
②若草作業所	47
③障がい者福祉センター	48
ア. 講座事業	48
イ. 地域活動支援センター事業	49
(4) 指定管理施設の管理・経営の充実	49
①事業経営委員会の開催	49

9. 受託事業の実施	49
(1) 宇都宮市からの受託事業	49
① 日中一時支援事業の実施	49
あっとほーむ・うだい	49
② 各種奉仕員養成講座の実施	50
ア. 手話奉仕員養成講座	50
イ. 点訳奉仕員養成講座	50
ウ. 音訳奉仕員養成講座	50
③ 宇都宮市意思疎通支援事業(要約筆記者派遣事業)の実施	50
④ 宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の実施	51
⑤ 生活困窮者自立相談支援事業の実施	51
⑥ 地域包括支援センター事業の充実	51
ア. 地域包括支援センター御本丸	51
イ. 上河内地域包括支援センター	51
⑦ 移動支援事業の実施	51
(2) 栃木県社会福祉協議会からの受託事業	52
① 生活福祉資金等貸付事業の実施	52
② 日常生活自立支援事業「あすてらす事業」の実施	52
10. その他	53
① 日本赤十字社栃木県支部宇都宮市地区事務局	53

## 〔総 括〕

今日、少子化のさらなる進行や超高齢社会の到来などに加え、単身世帯やひとり親世帯の増加、社会的孤立や貧困、地域活動の担い手不足など、様々な地域生活課題が多様化・複合化しているほか、相次ぐ災害や新型コロナウイルス等の未知の感染症へのリスクの高まりなど、地域を取り巻く環境は、大きく変化しています。

これらの地域生活課題を解決し、年齢や性別、障がいの有無や人種・国籍などに関わらず、お互いを理解して尊重し合い、一人ひとりが役割を持って支え合っていくことで、誰もが安心して暮らすことのできる地域共生社会の実現が求められています。

こうした中、本会では、令和4年度をもって第4次地域福祉活動計画が最終年度となったことから、宇都宮市と連携し、地区へのヒアリング調査やブロック別住民意見交換会などを行い、共に支え合い助け合う“向こう三軒両隣”の地域共生社会の実現を目指して、新たに「第5次地域福祉活動計画」を策定しました。

また、企業や大学等との連携による「子ども・若者育成推進事業（モデル事業）」や、災害時における支援力を強化するため、宇都宮市や市内のボランティア・NPO団体との合同研修など、新たな取組みを実施してきたほか、宇都宮市が設置する「宮っこの居場所応援連絡会」への参加による子ども支援、ぎんなん基金助成対象事業を拡充して地区社協や地区の関係機関が一体となって取り組む活動を支援するなど、「With コロナ」を踏まえつつ、多岐にわたる事業を展開してまいりました。

令和4年度においても、地区社会福祉協議会をはじめ、宇都宮市や自治会連合会、民生委員児童委員協議会、ボランティア・NPO団体など、他分野の関係機関・団体等と連携しながら、本会の有する機能と役割を最大限に発揮し、地域福祉の推進に努めてまいりました。

## 〔事業の実施状況〕

### 1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり

#### (1) バリアフリーやノーマライゼーションへの理解を深める福祉共育の支援

##### ①出前福祉共育講座の充実

事業の目的	子どもから大人までお互いに学びあい、教えあい、共に育む福祉共育を推進し、やさしさを育む心の醸成を図る。
-------	---

取組み内容	実施回数	参加者
障がい当事者団体やボランティア（アシスタント）の協力を得て、講話や体験などを中心とした講座を開催した。	延 66 回（前年度比 +40 回） ・手話体験 23 回 ・アイマスク体験 4 回 ・点字体験 18 回 ・盲導犬育成講話 6 回 ・車いす介助体験 10 回 ・ボランティア講話 3 回 ・その他 2 回	延 2,567 人 （前年度比+1,617 人）

#### 事業の様子



▲ 聴覚障がいの理解(手話体験)



▲ 身体障がいの理解(車いす介助体験)

##### ②地区福祉まつり支援の充実

事業の目的	地区社会福祉協議会が地域の関係機関などと協働で開催する「地区福祉まつり」の開催費用の一部を助成し、地域での仲間づくりや各団体の連携強化を図る。
-------	---

取組み内容
事業を実施した地区社会福祉協議会に対し、30,000 円を上限に助成し、事業の開催を支援した。（助成総額 120,000 円） <b>【助成地区】</b> ・城山地区      ・宮の原地区      ・雀宮地区      ・御幸ヶ原地区

### ③宇都宮市民福祉の祭典支援の充実

事業の目的	すべての市民が参加し、交流する場を通して、福祉への理解と地域の連帯感を深め、安心して生活できる福祉社会の実現を目指す。
-------	---

取組み内容	開催日
<p>市民相互の交流や福祉に対する理解を深める交流の場の推進を図るため、市民やボランティアが主体となる「宇都宮市民福祉の祭典」を開催した。</p> <p>○主催 宇都宮市民福祉の祭典実行委員会 ○内容 各種表彰、模擬店、障がい者の作品展示 福祉書道展・絵画展、車いす体験、福祉車両展示、防災グッズ紹介、伝言ダイヤル啓発・体験 マーチングバンド演奏、スタンプラリー ボランティア団体活動紹介放映 など</p>	<p>令和4年11月23日（水・祝）</p> <p>宇都宮市総合福祉センター 宇都宮市役所14階大会議室 オリオンスクエア 宇都宮市中央生涯学習センター</p>
参加者	備考
<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加協力団体 35 団体</li> <li>・ボランティア 64 人</li> <li>・一般来場者 約 3,500 人</li> </ul>	<p>※福祉バザー等の収益金 146,671 円を「ぎんなん基金」に寄附。</p>

#### 事業の様子



▲各福祉団体による模擬店（オリオンスクエア）



▲福祉バザー

#### ④やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会支援の充実

事業の目的	誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らすために必要なやさしさをはぐくむ心の醸成を図るため、市民・団体・事業者・行政と協力し、「心のバリアフリー」の啓発活動を通して、やさしさをはぐくむ福祉のまちづくりを推進する。
-------	--

取組み内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍における各団体での様々な取組みや、障がいのある方が感じている不安や困りごとを知り、啓発するためのリーフレットを作成し、構成団体に配付した。</li> <li>・福祉の祭典において、「知的障がいのある方の“感覚”・“気持ち”を体験してみよう」と題し、心のバリアフリー啓発活動を実施した。(参加者 27名)</li> </ul>

#### (2) 気軽に参加・参画できるボランティア活動の充実

##### ①赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動の推進

事業の目的	誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる福祉のまちづくりへの市民の参加を促し、多様な民間の社会福祉活動を財政面から支援する仕組みとして、募金運動を展開する。
-------	--

#### ア. 赤い羽根共同募金運動（栃木県共同募金会宇都宮市支会）

募金種別	実績額	前年度比	備考
戸別募金	27,528,903 円	-217,353 円	
法人募金	1,249,996 円	-372,042 円	143 事業所
街頭募金	75,802 円	+75,802 円	7 団体
学校募金	1,643,111 円	-383,593 円	147 校
職域募金	626,722 円	-73,490 円	147 箇所
その他の募金	763,578 円	+182,636 円	36 件
合計	31,888,112 円	-788,040 円	

#### イ. 歳末たすけあい募金運動（栃木県共同募金会宇都宮市支会）

募金種別	実績額	前年度比	備考
戸別募金	18,518,582 円	-263,573 円	
篤志募金	20,413 円	-15,130 円	5 件
合計	18,538,995 円	-278,703 円	

### ウ. 歳末たすけあい募金配分事業

配分種別	配分額	前年度比	備 考
施設配分	1,845,970 円	+484,120 円	通所の障がい者施設 54 施設 民間保育園 16 園
団体配分	349,550 円	+137,450 円	当事者団体 7 団体
地域配分	5,738,706 円	+1,564,306 円	37 地区社協
地域福祉活動 事業配分	9,551,975 円	+113,610 円	
合計	17,486,201 円	+2,299,486 円	翌年度繰越額：1,052,794 円

### エ. 歳末たすけあい事業配分委員会の開催

開催日	議 題
令和 4 年 8 月 30 日 (火) 【書面開催】	(協議事項) ・委員長の選任について ・令和 4 年度歳末たすけあい配分事業の実施について

### ②ボランティアセンター機能の充実

(総事業費 4,037,599 円)

事業の目的	市民の社会福祉に関する理解と関心を深めるとともに、近隣の市民が助けあうことを基本としたボランティア活動の推進を図る。
-------	--

### ア. ボランティアの相談・登録・調整の充実

各種相談・問合せ	ボランティア活動調整	ボランティア登録数
6,740 件 (前年度比+466 件)	172 件 (前年度比+35 件)	・団体 345 団体 11,818 人 (前年度比-14 団体 +192 人)  ・個人 85 人 (前年度比+25 人)

### イ. ボランティア団体への活動支援の推進

#### a. 宇都宮ボランティア協会の活動支援

取組み内容
宇都宮ボランティア協会に助成金を交付し、活動を支援した。(助成額 250,000 円)

### b. ボランティア活動用機材の貸出

取組み内容	貸出件数	貸出物品
登録しているボランティア団体・個人を対象に、活動に必要な機材の貸出を行い、活動を支援した。	237 件 (前年度比+116 件)	パソコン 液晶プロジェクター スクリーンなど

### c. ボランティアルームの貸出

取組み内容	利用件数
登録しているボランティア団体・個人を対象に、活動場所となる部屋の貸出を行い、活動を支援した。	延 167 団体 1,063 人 (前年度比+46 団体+415 人)

### d. ボランティアロッカーの貸出

取組み内容	利用団体数
登録しているボランティア団体を対象にロッカーの貸出を行い、活動を支援した。	利用団体 32 団体 (前年度比-4 件)

### e. 対面朗読サービスの実施

取組み内容	実施回数など
視覚障がいのある方などに対して、書籍・新聞など本人が希望する文書を対面で読み上げるサービスを、音訳ボランティアの協力で実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数 0 回 (前年度比±0 回)</li> <li>・利用者数 延 0 人 (前年度比±0 人)</li> <li>・協力ボランティア数 延 0 人 (前年度比±0 人)</li> </ul>

### ③ボランティア養成の充実

#### ア. ボランティア入門講座（ぼらんていあ Saturday）

事業の目的	親子や社会人などが参加しやすい土曜日に開催し、福祉のまちづくりの一助となるボランティア活動の“きっかけ”をつくる。
-------	---

取組み内容	開催日	参加者
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聴覚障がいを学ぼう</li> <li>・ 視覚障がいを学ぼう</li> <li>・ 発達障がいを学ぼう</li> <li>・ 精神障がいを学ぼう</li> </ul>	(聴覚) 令和4年7月2日(土) 令和5年1月21日(土)	延83人 (前年度比+67人)
	(視覚) 令和4年7月23日(土) 令和5年1月28日(土)	
	(発達) 令和5年2月18日(土)	
	(精神) 令和4年9月10日(土)	

#### 事業の様子



▲手話体験（聴覚障がいを学ぼう）



▲点字体験（視覚障がいを学ぼう）

## イ. 学生ボランティアの養成（サマーボランティアスクール）

<b>事業の目的</b>	高校生から大学生、専門学校生を対象に、ボランティア活動のきっかけをつくり、身近な地域でのボランティア活動の推進を図る。
--------------	---

取組み内容	開催日	参加者
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視覚障がい者による講話</li> <li>・ 手引き、アイマスク体験</li> <li>・ ゲーム、卓球による交流 など</li> </ul>	令和4年8月4日(木) 8月5日(金)	延べ20人 (前年度比+20人)

### 事業の様子



▲視覚障がい者との交流

## ウ. 災害福祉救援ボランティア養成講座

<b>事業の目的</b>	減災意識の向上と減災活動の実践につなげるとともに、災害時のボランティアを養成する。
--------------	---

取組み内容	開催日	参加者
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講話（災害に対する心構え）</li> <li>・ 身体、聴覚、視覚障がいの理解</li> <li>・ 実技（避難所等で役立つ生活支援） など（全3回）</li> </ul>	令和4年6月4日(土) 6月11日(土) 6月18日(土)	延55人 (前年度比-21人)

### 事業の様子



▲災害時の助け合いについて学ぶ（身体障がい）



▲実技（生活支援について学ぶ）

## エ. 災害福祉救援ボランティアフォローアップ講座

事業の目的	災害福祉救援ボランティア養成講座の修了生を対象に実施し、災害ボランティアの知識と技術の向上を図る。
-------	---

取組み内容	開催日	参加者
○1日目 ・講義 (災害ボランティアセンターの活動) ・実技 (災害ボランティアセンター設置 運営訓練) ○2日目 ・宇都宮市総合防災訓練への参加	令和4年8月6日(土) 8月20日(土)  2日目の市総合防災 訓練への参加は、規模 縮小開催となったため 『参加中止』	11人 (前年度比-4人)

## オ. 傾聴ボランティア養成講座

事業の目的	高齢者が抱える不安や孤独に耳を傾け、孤独感を解消するための「傾聴活動」に必要な技能や資質を学ぶ。
-------	--

取組み内容	開催日	参加者
・講義 (傾聴の基本、認知症の理解など) ・ロールプレイ (模擬演習) (全3回)	令和4年9月6日(火) 9月13日(火) 9月20日(火)	延59人 (前年度比+59人)

## カ. 福祉共育サポーター養成講座

事業の目的	出前福祉共育講座をより効果的に展開するため、福祉共育サポーターを養成する。
-------	---------------------------------------

取組み内容	開催日	参加者
○1 日目 ・ 講義 (福祉共育の現状と課題など)	令和 5 年 2 月 20 日 (月) 2 月 27 日 (月)	24 人 (前年度比+10人)
○2 日目 ・ 体験 「身体障がいの理解」 「視覚障がいの理解」		

### 事業の様子



▲出前福祉共育講座で活躍するアシスタントの養成

#### ④善意銀行事業の推進

事業の目的	市民などからの善意の金銭や物品の預託を受け、必要とするところに払い出しを行い、市民相互の支えあい・助けあい活動を推進する。
-------	---

#### ア. 金銭の預託、払い出し

	項目	金額	前年度比	備考
預託	預託金受入れ	8,236,253 円	-5,985,492 円	
	使用済み切手 書き損じはがき	45,181 円	-39,635 円	
	プルタブ	50,765 円	+30,470 円	
	入れ歯リサイクル	0 円	±0 円	
	前年度繰越金	17,056,116 円	+14,052,356 円	
	①預託金合計	25,388,315 円	+8,057,699 円	
払出	指定払出し	110,000 円	+44,300 円	
	宮っ子の居場所への払い出し	1,607,600 円	+1,607,600 円	
	事業費支出	1,085,712 円	+876,912 円	
	②払い出し合計	2,803,312 円	+2,528,812 円	
	次年度繰越金	22,585,003 円	+5,528,887 円	

#### イ. 物品の預託、払い出し

	項目	件数	前年度比
預託	収集物品 (使用済み切手、プルタブなど)	113 件	+22 件
	その他物品 (車いす、タオル、衣類、除菌液、マスクなど)	19 件	-5 件
	預託件数合計	132 件	+17 件
払出	施設や団体等 (衣類・食品等)	25 件	-2 件
	払い出し件数合計	25 件	-2 件

⑤宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の推進  
【宇都宮市からの受託事業（平成 26 年 6 月 25 日受託）】

（総事業費 21,937,766 円）

事業の目的	高齢者が充実した高齢期を送ることができるよう、また、まちづくりの担い手として活躍できるよう、高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいを促進する。
-------	---

取組み内容	登録団体など
高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいを促進する事業の管理運営機関として、円滑かつ適正に事業を展開した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録団体数 492 団体（前年度比 -14 団体）</li> <li>・事業対象者数 12,931 人（前年度比 +231 人）</li> </ul>

（3）災害ボランティア活動の実施

①災害時の連携体制の構築に向けた取組み

事業の目的	宇都宮市、市社協、市内のボランティア・NPO 団体等による災害時の連携支援体制を構築する。
-------	---

取組み内容	開催日
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>現状報告</b> 「災害時における市と社協の役割を知る」</li> <li>・ <b>疑似体験</b> 「新型コロナウイルス対策も踏まえた災害ボランティアセンターの運営」</li> <li>・ <b>ワークショップ</b> お互いの強みを生かした「今後の災害時における連携・協働体制」を考える</li> </ul>	<p>令和 4 年 10 月 14 日（金）</p> <p>参加人数：13 団体 66 名 〔宇都宮市、市社協、ボランティア・NPO 団体等〕</p>

参加団体

- ・ 宇都宮ボランティア協会
- ・ (公財) 宇都宮青年会議所
- ・ 宇都宮大学学生ボランティア支援室
- ・ NPO 法人宇都宮まちづくり市民工房
- ・ NPO 法人とちぎユースサポーターズネットワーク
- ・ 認定 NPO 法人とちぎボランティアネットワーク
- ・ (公財) とちぎ YMCA
- ・ DRF 宇都宮
- ・ 栃木県社会福祉協議会
- ・ 栃木県共同募金会
- ・ 宇都宮市（危機管理課、みんなでまちづくり課、保健福祉総務課）
- ・ 宇都宮市社会福祉協議会



▲災害ボランティアセンター運営訓練

## ②危機管理体制の強化

事業の目的	宇都宮市をはじめ、地域の関連機関・団体、ボランティア・NPO 団体などの関係機関との連携協働体制を構築し、危機管理対応力の強化を図る。
-------	---

取組み内容等	
災害講座等に職員を講師として派遣し、連携体制の構築や災害ボランティアの裾野の拡大を図った。	
○令和4年台風第15号静岡市災害ボランティアセンター応援職員の派遣 令和4年10月15日（土）～19日（水） 2名派遣	
○主催：連合栃木宇河地域協議会 『令和元年東日本台風の事例から見る災害ボランティアと連携・協働』 令和4年8月22日（月）栃木県労働者福祉センター	
○主催：とちぎユースサポーターズネットワーク 栃木県デジタル戦略会議『災害ボランティアとデジタル化の可能性』 令和4年11月28日（月）オンライン	
○主催：栃木県 令和4年度災害ボランティアセミナーin 栃木『私にもできる災害ボランティア』 令和5年1月19日（木）とちぎ健康の森	

## ③宇都宮市総合防災訓練への参加

事業の目的	災害ボランティアセンターの迅速な設置とボランティアの機能的・効率的な受入を行うため、総合防災訓練に参加し訓練を行う。
-------	--

取組み内容	開催日
「災害ボランティアセンター設置運営訓練」を宇都宮ボランティア協会、災害ボランティア養成講座修了生と協働で実施する。	規模縮小開催のため 『参加中止』

#### (4) 幅広い世代が地域で活躍できる機会づくり

##### ①ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の充実

事業の目的	地域で暮らすひとり暮らし高齢者が生きがいをもって生活ができるよう、地域の中での仲間づくりや孤独感の解消、情報の提供を目的に会食会の実施を支援する。
-------	---

取組み内容	実施地区
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 助成 33 地区社協に 1 食あたり 400 円を助成した。 (助成総額 7,000,713 円)</li> <li>・ 対象 おおむね 65 歳以上のひとり暮らし高齢者</li> <li>・ 実施回数 地区社協ごとに年 6~12 回実施</li> </ul>	33 地区

##### ②食中毒・食品衛生講習会の開催

事業の目的	ふれあい会食事業に携わる福祉協力員や民生委員などを対象に、食中毒防止などに関する講習を行い、事業実施に伴う食の安全・安心を図る。
-------	--

取組み内容	開催日
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講習「食中毒・食品衛生に関すること」</li> <li>・ 情報交換</li> </ul>	<b>【中止】</b> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため。

##### ③ふれあい・いきいきサロン事業の推進

事業の目的	高齢者、障がい者及び子どもなどが身近な場所に気軽に集い、ふれあいを通して仲間づくりや生きがいづくりの輪を広げ、参加者の悩みや不安の解消を図る。
-------	---

取組み内容	サロン設置数
○ふれあい・いきいきサロン事業助成 1 サロンあたり 24,000 円を上限に助成した。(毎年度助成) (計 296 サロン 助成総額 7,024,000 円)	39 地区 318 箇所 (休止中含む) (R5.3.31 現在)
○ふれあい・いきいきサロン健康事業助成 参加者の健康増進のための器具を購入する際の経費として、 25,000 円を上限に助成した。(1 サロン 1 回限り) (計 2 サロン 助成総額 49,970 円)	

#### ④ふれあい・いきいきサロン連絡会研修会の開催

事業の目的	ふれあい・いきいきサロン事業の効果的な運営とサロン相互の連携を促進する。
-------	--------------------------------------

取組み内容	開催日
<p>○事例発表 「コロナ禍でも頑張ってます！ わたしのまちのサロン活動」 発表者 ①上河内地区 松風台カフェ ②瑞穂野地区 ふれあいいきいきサロン 瑞穂台</p> <p>○体操講習 「簡単らくらく！コロナに負けない体づくり」 講師：①② 健康運動指導士</p>	<p>①令和4年11月9日（水） 午前の部・午後の部 場所：パーティとちぎ 男女共同参画 センター</p> <p>②令和4年11月17日（木） 午前の部・午後の部 場所：明保野体育館</p>

#### 事業の様子



## ⑤男性高齢者調理講習会事業の支援

事業の目的	男性高齢者の栄養面を考えた調理を含め、自立した生活と地域での仲間づくりや生きがいを持ち、いきいきとした生活が送れるよう実施を支援する。
-------	---

取組み内容		
事業を実施した地区社会福祉協議会に対し開催費用を助成し、事業の開催を支援した。(助成総額 48,200 円)		
	助成地区	実施回数
	東地区	4 回
	昭和地区	6 回
	城山地区	1 回
	宮の原地区	5 回
	豊郷地区	5 回
	篠井地区	1 回
	合計	22 回
		延参加者
		23 人
		48 人
		19 人
		65 人
		75 人
		11 人
		241 人
		(前年度比 +127 人)

## 2. 安心して暮らせる福祉の基盤づくり

### (1) 地域福祉・ボランティアなどに関する情報発信の強化

#### ①広報紙「社協だより」の発行

事業の目的	広報紙「社協だより」を発行することで福祉情報を広く発信し、市民の地域福祉事業（活動）への参画促進を図る。
-------	--

取組み内容	発行部数
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 184 号 令和 4 年 4 月 20 日発行</li> <li>・ 第 185 号 7 月 1 日発行</li> <li>・ 第 186 号 10 月 1 日発行</li> <li>・ 第 187 号 令和 5 年 2 月 1 日発行</li> </ul>	各号 21,000 部を発行

#### ②ホームページの充実

事業の目的	「ホームページ」を活用して福祉情報を広く発信し、市民の地域福祉事業（活動）への参画促進を図る。
-------	---

取組み内容	閲覧数
・ 福祉に関する情報や、社協の事業などを発信	月平均 約 5,500 件

### ③福祉に関する情報発信機能の充実

<b>事業の目的</b>	地域の福祉拠点として指定管理施設を活用し、福祉情報を広く発信し、市民の地域福祉事業（活動）への参画促進を図る。
--------------	---

取組み内容	実施施設
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種地域福祉講座、講習会などの福祉情報の提供</li> <li>・車いすなどの福祉機器の貸出 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人福祉センター 5施設</li> <li>・地域活動支援センター 3施設</li> <li>・総合福祉センター 2施設</li> </ul>

### ④地区社協広報紙の発行助成

<b>事業の目的</b>	地区社協が発行する広報紙の発行費用を助成し、地域の住民に対する福祉情報の広報・啓発を行う。
--------------	---

取組み内容
<p>広報紙を発行した地区社会福祉協議会に対し、発行にかかる費用の 1/2（地区の世帯数に応じた上限額の範囲内）を助成し、地域住民に対する福祉情報の広報・啓発を支援した。（助成総額 107,800 円）</p> <p>〔助成地区〕 ・清原地区          ・桜地区          ・宝木地区</p>

## (2) 生活・福祉に関する相談支援体制の充実

### ①日常生活自立支援事業「あすてらす事業」の実施

【栃木県社会福祉協議会からの受託事業（平成11年10月1日受託）】

（総事業費 10,772,302 円）

事業の目的	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が十分でない方に対し、相談や福祉サービスの利用援助、金銭管理などのサービスを提供する。
-------	---

取組み内容																							
・担当地区	宇都宮市																						
・一般相談	月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分																						
・契約者数	91人（新規契約者+16人） （前年度比：契約者数 -5人、新規契約者数 +5人）																						
・相談件数	2,572件（前年度比 +330件） ※主な相談内容は、契約者からの支援内容や金銭払い出しに関するもの																						
・相談者	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">区 分</th> <th style="width: 35%;">相談件数</th> <th style="width: 35%;">前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症高齢者</td> <td>682件</td> <td>+61件</td> </tr> <tr> <td>知的障がい者</td> <td>481件</td> <td>+65件</td> </tr> <tr> <td>精神障がい者</td> <td>1,193件</td> <td>+106件</td> </tr> <tr> <td>身体障がい者</td> <td>133件</td> <td>+25件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>83件</td> <td>+73件</td> </tr> <tr> <td>合計（延）</td> <td>2,572件</td> <td>+330件</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	相談件数	前年度比	認知症高齢者	682件	+61件	知的障がい者	481件	+65件	精神障がい者	1,193件	+106件	身体障がい者	133件	+25件	その他	83件	+73件	合計（延）	2,572件	+330件
区 分	相談件数	前年度比																					
認知症高齢者	682件	+61件																					
知的障がい者	481件	+65件																					
精神障がい者	1,193件	+106件																					
身体障がい者	133件	+25件																					
その他	83件	+73件																					
合計（延）	2,572件	+330件																					

### ②法人後見事業の実施

事業の目的	認知症や知的障がいなどの理由により、意思決定が困難な方の判断能力を補うため、法人として成年後見人等となり、財産管理、身上保護を行うことで利用者の権利を擁護する。
-------	--

取組み内容																	
・法人後見受任件数（終了2件）	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">区 分</th> <th style="width: 35%;">件数</th> <th style="width: 35%;">前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後見類型</td> <td>5件</td> <td>-2件</td> </tr> <tr> <td>保佐類型</td> <td>0件</td> <td>±0件</td> </tr> <tr> <td>補助類型</td> <td>0件</td> <td>±0件</td> </tr> <tr> <td>合計（延）</td> <td>5件</td> <td>-2件</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	件数	前年度比	後見類型	5件	-2件	保佐類型	0件	±0件	補助類型	0件	±0件	合計（延）	5件	-2件
区 分	件数	前年度比															
後見類型	5件	-2件															
保佐類型	0件	±0件															
補助類型	0件	±0件															
合計（延）	5件	-2件															
・相談件数	99件（前年度比 +2件） ※主な相談内容は、法人後見制度の内容や手続きに関するもの																
・法人後見運営委員会	令和4年6月29日（水）、令和5年3月16日（木）																

③総合相談センター（心配ごと・悩みごと相談センター）事業の充実  
 （総事業費 3,160,862 円）

事業の目的	市民が抱える各種の問題について広く相談に応じ、適切な助言指導を行うとともに、各相談機関との連携を図る。
-------	---

取組み内容

○相談内容と相談件数

相談内容	相談件数	相談内容	相談件数
生計問題	11 件	財産問題	14 件
年金問題	0 件	交通事故問題	1 件
職業・生業問題	2 件	児童福祉・母子保健問題	1 件
住宅問題	9 件	教育・青少年問題	2 件
家族問題	36 件	心身障がい者福祉問題	0 件
結婚問題	5 件	ひとり親福祉問題	0 件
離婚問題	0 件	高齢者福祉問題	8 件
健康・衛生問題	4 件	苦情問題	17 件
医療問題	6 件	その他	44 件
精神衛生問題	348 件	合計 512 件（前年度比－193 件）	
人権・法律問題	4 件		

※開設回数 延 243 回

（うち特別相談日 18 回、巡回相談は新型コロナウイルス感染症予防のため休止）

・心配ごとや悩みごとの相談 月～金曜日

特別相談（毎月各 1 回）
第 3 火曜日：弁護士の法律相談
第 3 水曜日：知的障がい者の生活相談
第 3 木曜日：更生や犯罪予防に関する相談
第 3 金曜日：こころの悩み相談

・生活福祉相談員研修会の開催

日 時	令和 5 年 3 月 9 日（木）
参加人数	13 名
研修テーマ	「精神障がいについて」～精神障がい者への理解と対応方法～
内 容	市の保健所職員による精神障がいの特性や対応の仕方についての講義。

④生活困窮者自立相談支援事業の実施

【宇都宮市からの受託事業（平成 26 年 6 月 25 日モデル事業受託  
平成 27 年 4 月 1 日受託）】

（総事業費 44,987,000 円）

事業の目的	現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなる恐れのある方に対し、自立に向けた相談支援を行う。
-------	---

取組み内容		
・相談などの内訳		
区 分	件数など	前年度比
新規相談件数（新規受付実人数）	1,750 件	－562 件
自立に向けたプラン作成件数	396 件	－167 件
就労支援対象者数	86 人	－198 人
就職及び増収者数	44 人	－26 人
支援回数	9,942 件	－1,043 件
・住居確保給付金の申請対応 （新型コロナウイルス感染症の影響による支給要件の緩和）		
新規申請件数	延支給世帯数	
42 件	474 世帯	

⑤地域包括支援センター事業の充実

ア. 地域包括支援センター御本丸

【宇都宮市からの受託事業（平成 18 年 4 月 1 日受託）】

（総事業費 37,143,749 円）

事業の目的	介護・福祉・健康の総合窓口として、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援する。
-------	---

取組み内容	
・ 担当地区	中央地区、築瀬地区、城東地区
・ 総合相談支援事業	相談者数 延 468 人（前年度比 -97 人）
・ 地域ケア会議の開催	中央地区全体 4 回 築瀬地区全体 0 回（協議体へ移行） 城東地区全体 3 回 単位自治会ごと 7 回
・ 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業	介護予防支援プラン作成 延 1,447 件 （うち居宅介護支援事業所委託 824 件） 介護予防ケアマネジメントプラン作成 延 1,408 件 （うち居宅介護支援事業所委託 675 件）
・ 介護予防教室参加者支援	2 コース（会場：中央地域コミュニティセンター、県営平松本町住宅集会場）
・ 家族介護教室の開催	『便秘に効く運動について』 3 回
・ ひとり暮らし安心ネットワーク事業	安否確認 延 12 回（対象者：1 人）
・ 地域介護予防活動支援事業	対象グループなし

## イ. 上河内地域包括支援センター

【宇都宮市からの受託事業（平成 19 年 4 月 1 日受託）】

（総事業費 24,872,716 円）

事業の目的	介護・福祉・健康の総合窓口として、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援する。
-------	---

取組み内容	
・ 担当地区	上河内地区
・ 総合相談支援事業	相談者数 延 496 人（前年度比 +300 人）
・ 地域ケア会議の開催	上河内地区全体 2 回
・ 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業	介護予防支援プラン作成 延 557 件 （うち居宅介護支援事業所委託 229 件） 介護予防ケアマネジメントプラン作成 延 277 件 （うち居宅介護支援事業所委託 88 件）
・ 介護予防教室参加者支援	1 コース（会場：上河内地区市民センター）
・ 家族介護教室の開催	『介護者のためのストレスケア ～緑で癒される苔玉作り～』1 回
・ ひとり暮らし安心ネットワーク事業	安否確認 延 11 回（対象者：1 人）
・ 地域介護予防活動支援事業	介護予防教室などの修了者に対する自主グループ支援 1 団体 延 2 回

### 3. ともに支えあう地域社会づくり

#### (1) 身近な地域の中での市民相互の支えあい・助けあい活動の充実

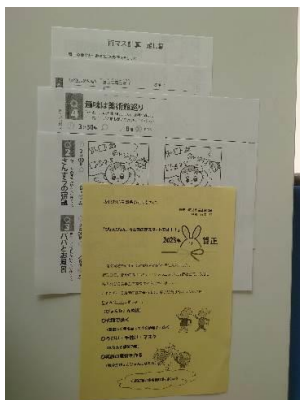
##### ①地区社会福祉協議会支援の充実

事業の目的	地域の生活・福祉課題の把握や課題の解決方法、社会資源の点検や新たな社会資源の開発などを関係機関・団体などと連携・協働で行える体制づくりに努め、市民が主体的に地域福祉事業（活動）に参画できるよう支援する。
-------	---

取組み内容	配置数
地区担当職員をブロックごとに配置し、地区社協が実施したコロナ禍でもつながりを絶やさない地域づくり（見守り活動や交流活動など）の好事例を収集・発信し、活動支援を行った。	地区担当職員 5人配置

#### 【地区社協の取組み工夫】

##### ■事例1：見守り活動の工夫（陽東地区社協）



新型コロナウイルス感染症の影響から、7月以外はふれあい会食会を中止としましたが、代替りの活動として、脳トレや塗り絵、熱中症やインフルエンザ予防のパンフレット、お菓子やお弁当などを配付しながら、見守り活動を継続しました。

##### ■事例2：地区社協主催研修会の開催（細谷・上戸祭地区社協）



地区社協独自事業として、令和5年3月にとちぎ福祉プラザに於いて研修会を開催しました。101名の参加があり、映画「ぼけますから、よろしくお願ひします。」の上映を通して、認知症に関する理解を深めました。

3年前から計画していたものであり、新型コロナウイルス感染症の影響で延期となっていました。行動制限が緩和されたことで、必要な感染症対策を講じたうえで開催できました。

## ②地区社会福祉協議会会長研修会の開催

事業の目的	先駆的な活動の視察や先進的な活動に取り組んでいる地区の発表を聞く等を通じ、地区社協が実施する地域福祉活動のさらなる活性化と地区社協間の交流を図る。
-------	---

取組み内容	開催日
地区社会福祉協議会における取組み ・活動事例発表 （石井地区、細谷・上戸祭地区） ・事例発表者と参加者による意見交換	地区社協の会長・役員を対象に午前・午後の2回に分けて開催 ・令和4年12月23日（金） 【午前の部】10:00～12:00 【午後の部】13:30～15:30



▲活動事例を発表▲

## ③福祉協力員制度の推進

事業の目的	地域福祉及び在宅福祉の効率的運営と組織的活動を促進し、社会福祉の増進を図るため福祉協力員制度を推進する。
-------	--

取組み内容
小地域福祉ネットワーク活動を推進するため、福祉協力員を委嘱するとともに、福祉協力員連絡会の支援及び活動費の助成を行った。（助成総額 4,187,000 円）  ・地区別福祉協力員数（39 地区合計） 2,514 人（前年度比 -2 人）

#### ④ブロック別福祉協力員表彰式・研修会の開催

事業の目的	身近な地域における見守りや声かけ活動などの地域福祉活動を長年実践してきた福祉協力員に対し、その功績を称えるとともに、福祉協力員の資質の向上と地区社協の地域福祉活動の活性化を図る。
-------	---

取組み内容	開催日等
<p>■福祉協力員表彰            (30年表彰) 受賞者 1 地区 1 名            (20年表彰) 受賞者 10 地区 34 名            (10年表彰) 受賞者 22 地区 70 名</p> <p>■研修会 (動画視聴)            ○『今、知りたい、考えたい福祉課題 “ヤングケアラー” って?』            講師：国際医療福祉大学            医療福祉・マネジメント学科            准教授 大石剛史 氏</p> <p>○事例紹介            ・陽東地区『陽東おもいやり食堂』            ・陽南地区『地域の居場所 えん』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央ブロック                令和4年7月12日(火)                市総合コミュニティセンター</li> <li>・東部ブロック                令和4年7月4日(月)                東市民活動センター</li> <li>・西部ブロック                令和4年7月14日(木)                とちぎ青年会館コンセーレ</li> <li>・南部ブロック                令和4年7月6日(水)                雀宮地区市民センター</li> <li>・北部ブロック                令和4年7月8日(金)                河内総合福祉センター</li> </ul>

#### 事業の様子



▲研修会の様子▲

### ⑤地域共生社会推進事業の支援

<b>事業の目的</b>	地区社協が主催または共催する、地域共生社会の推進に資する事業に助成し、活動を支援した。
--------------	---

#### 取組み内容

事業を実施した地区社会福祉協議会に対し活動費用を助成し、活動を支援した。  
(助成総額 150,000 円)

[助成地区] ・明保地区 ・陽光地区 ・篠井地区

#### ■取組み例：陽光地区ささえあい会（陽光地区社協）

地区まちづくり協議会や地区社協が連携し、高齢者の生活支援を行う、「陽光地区ささえあい会」を発足。登録したボランティアが高齢者のお宅で草むしりといった軽作業を行った。

・活動件数 7件

### ⑥安心・安全情報キット配付事業の推進

<b>事業の目的</b>	本人情報が即座に確認できる「キット」を配付することで、救急時における速やかな対応と見守り活動を促進し、安全・安心な日常生活が送れる地域社会を構築する。
--------------	---

取組み内容	配付数
在宅の高齢者及び障がい者などに対し、「安心・安全情報キット」を配付した。	・令和4年度配付本数 12地区 867本 (累計配付本数 39地区 延 25,572本)

#### 事業の様子



▲安心・安全情報キットの配付

### ⑦宇都宮市宮っこの居場所応援連絡会への参加

事業の目的	企業や個人などの居場所支援者からの金銭や物品等の寄附などを、支援を必要とする居場所運営者へ適切につなぐため、市等と連携していく。
-------	--

取組み内容	
○令和4年4月22日(金)	第1回宇都宮市宮っこの居場所応援連絡会議
令和4年8月8日(月)	第2回宇都宮市宮っこの居場所応援連絡会議
令和4年10月11日(火)	宇都宮市宮っこの居場所応援連絡会議 第1回実務者会議
○寄附金の受入れ	33件 8,000,682円
○宇都宮市宮っこの居場所への払出し	44件 1,607,600円(参考:子どもの居場所登録団体数 23件)

### ⑧子ども・若者育成推進事業(モデル事業)の実施

事業の目的	子どもを対象とする新規事業の実施に向けてモデル事業を開催した。
-------	---------------------------------

取組み内容	
日 時	: 令和5年3月25日(土)
目 的	: 不登校の児童生徒に、「体験・経験」の場を提供し、多様な機関の人と出会い、つながる場を創出することで、自己肯定感(前向きな気持ちや考え方、自信)を醸成する。
内 容	: 「きらり」宇都宮ブレックスの試合を観よう! (プロバスケットボールチーム「宇都宮ブレックス」公式戦への招待)
参 加 者	: 11名
連携・協働	: 藤井産業(株)、宇都宮ブレックス、NPO法人キーデザイン、宇都宮大学、ボランティア

#### 事業の様子



▲宇都宮ブレックスのホームゲームを観戦▲

**⑨ファミリーケアサービス事業の充実**

(総事業費 2,466,436 円)

事業の目的	日常生活を営むうえで支援が必要な高齢者や障がい者などの世帯(利用会員)に対し、協力会員が有償で家事援助などのサービスを提供する。
-------	--

サービス内容	会員数	利用実績
掃除、食事の準備、洗濯、買い物、外出時の付き添いなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用会員 38人 (前年度比-2人)</li> <li>・協力会員 12人 (前年度比-4人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用件数 延 1,630件 (前年度比 -228件)</li> <li>・利用時間 延 1,969時間 (前年度比 -324時間)</li> </ul>

**⑩老人クラブ支援の充実**

事業の目的	老人クラブの育成指導と連絡調整を図り、併せてクラブ活動の充実強化を推進し、高齢者福祉及び地域福祉の向上発展に寄与する。
-------	---

取組み内容	クラブ数・会員数
高齢者の介護予防や相互支援に取り組んでいる単位老人クラブや地区連絡協議会を支援し、市老人クラブ連合会組織の充実強化と事業支援を行った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブ数 262クラブ</li> <li>・会員数 13,868人</li> </ul>

取組み内容
<p>○主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブ社会奉仕の日(年3回) 延 5,551人</li> <li>・機関紙の発行(年3回)</li> <li>・地区体育大会 1地区 66名</li> <li>・地区歩け歩け大会 15地区 1,183人</li> <li>・加入促進運動強化月間 1月～3月</li> <li>・リーダー研修会の開催</li> </ul>

**⑪敬老会開催の支援**

事業の目的	高齢者を敬い、励まし、高齢者福祉に対する市民の理解や関わりを深めながら、市民全体で協力して活力ある長寿社会を築くため、敬老会の開催を支援する。
-------	---

取組み内容
<p>地区社会福祉協議会、宇都宮市、市社会福祉協議会の共催により開催する敬老会の開催費用の一部を助成した。</p> <p style="text-align: center;">39地区社協へ助成(助成総額 5,364,975円)</p>

## ⑫ 援護事業の実施

事業の目的	所持金の紛失などにより、目的地まで行くことのできない行旅人に対し、旅費の貸付を行う。
-------	--

貸付限度額	貸付人数など
1人600円（1人1回限り）	・貸付人数 38人（前年度比-26人） ・貸付額合計 22,800円

## ⑬ 社会福祉資金貸付事業

事業の目的	市社協が独自に行う貸付事業の債権管理を行う。
-------	------------------------

取組み内容
・累積貸付件数 0件（前年度比 ±0件） ※他の貸付制度が充実したことにより、本事業は令和4年度をもって終了。

## ⑭ 各種事業に対する後援・共催

事業の目的	各団体などが開催する事業に対し、後援・共催を行う。
-------	---------------------------

取組み内容
・共催 0件（前年度比±0件） ・後援 19件（ボランティア団体など）（前年度比+9件）

## (2) 将来を見据えた地域における福祉の基盤づくりの支援

### ①第4次宇都宮市地域福祉活動計画の推進と第5次宇都宮市地域福祉活動計画の策定

事業の目的	地域に根差した福祉活動を推進するため、ともに支えあい助けあう“向こう三軒両隣型”の地域共生社会の構築を目指し、第4次宇都宮市地域福祉活動計画を推進すると共に、第5次宇都宮市地域福祉活動計画を策定しました。
-------	--

取組み内容
<p>第4次宇都宮市地域福祉活動計画を推進するため、進行管理を行うと共に、第5次宇都宮市地域福祉活動計画の策定のため、「作業部会」、「検討委員会」、「地域福祉事業運営委員会」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第4次宇都宮市地域福祉活動計画推進期間：平成30年度～令和4年度</li> <li>・第5次宇都宮市地域福祉活動計画推進期間：令和5年度～令和9年度</li> </ul>

### ②「作業部会」、「検討委員会」、「地域福祉事業運営委員会」の開催

#### ア. 作業部会の開催

開催日	議 題
令和4年 8月26日(金)	<p>(研修) テーマ：「重層的体制整備事業」とは？ ～「地域共生社会の実現」に向けて社協が取り組むこと～ 講師：栃木県社会福祉協議会 地域福祉・ボランティア課</p> <p>(協議事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(仮称)第5次宇都宮市地域福祉活動計画の策定について</li> <li>・アンケート調査について</li> <li>・ヒアリング調査について</li> <li>・ブロック別住民意見交換会について</li> <li>・コアメンバー会議の報告について</li> <li>・取り組み評価シートについて</li> </ul>
令和4年 11月18日(金)	<p>(協議事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業部会コアメンバー会議・チーム会議の報告</li> <li>・骨子案及び取組具体化シートについて</li> </ul>
令和5年 2月7日(火)	<p>(報告事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(仮称)第5次宇都宮市地域福祉計画について</li> <li>・(仮称)第5次宇都宮市地域福祉活動計画について</li> </ul> <p>(協議事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重点取組における主要事業の展開について</li> </ul>

## イ. 検討委員会の開催

開催日	取組み内容
令和4年 9月13日(火)	(協議事項) ・「(仮称)第5次宇都宮市地域福祉活動計画」の策定について ・現行計画の課題の整理について ・策定推進作業部会「コアメンバー会議」について
令和4年 11月24日(木)	(協議事項) ・(仮称)第5次「宇都宮市地域福祉活動計画」の基本的な方針について ・(仮称)第5次「宇都宮市地域福祉活動計画」の骨子(案)について
令和5年 2月14日(火)	(協議事項) ・(仮称)第5次宇都宮市地域福祉活動計画について

## ウ. 地域福祉事業運営委員会の開催

開催日	取組み内容
令和4年 9月29日(木)	(協議事項) ・「(仮称)第5次宇都宮市地域福祉活動計画」の策定について ・現行計画の課題の整理について
令和4年 12月2日(金)	(協議事項) ・(仮称)第5次「宇都宮市地域福祉活動計画」の基本的な方針について ・(仮称)第5次「宇都宮市地域福祉活動計画」の骨子(案)について
令和5年 2月24日(金)	(協議事項) ・令和4年度「With コロナ社会」における地域福祉・ボランティア事業等の取り組みについて ・第5次宇都宮市地域福祉活動計画(案)について

## ③地区福祉のまちづくり計画(小地域福祉活動計画)の策定及び推進の支援

事業の目的	地域の生活・福祉課題を解決し、市民の地域福祉活動への積極的な参画を図る。
-------	--------------------------------------

取組み内容
(未策定地区への支援) ・地域の関係機関・団体と連携しながら、地区福祉のまちづくり計画(小地域福祉活動計画)の策定に向けて、地区担当職員による支援を行った。
(策定済み地区への支援) ・計画の推進、進行管理などの策定後の活動を支援した。 (瑞穂野地区、平石地区、河内地区)

#### 4. 在宅福祉サービス事業の推進

##### (1) 様々なニーズに応じたサービスの提供

##### ①福祉機器（車いすなど）貸出事業の推進

事業の目的	市社協が所有する車いすなどの福祉機器の貸出を行い、在宅福祉の推進を図る。
-------	--------------------------------------

取組み内容	貸出窓口	貸出件数
<p>一時的に車いすや歩行器などが必要になった市民に、貸出を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸出期間 原則として3か月</li> <li>・ 利用料 無料</li> </ul>	<p>(市内9か所)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティアセンター</li> <li>・ 河内総合福祉センター</li> <li>・ ことぶき会館</li> <li>・ ふれあい荘</li> <li>・ やすらぎ荘</li> <li>・ すこやか荘</li> <li>・ 上河内老人福祉センター</li> <li>・ 雀の宮作業所</li> <li>・ 若草作業所</li> </ul>	<p>延 451 件 (前年度比+123件)</p>

##### ②福祉理美容出張費補助サービス事業の推進

(総事業費 581,617 円)

事業の目的	理美容店に出向いて利用することが困難な65才以上の在宅の高齢者で理容を希望する者に、訪問理容出張サービスの出張費補助券を提供することで、在宅福祉の充実と向上を図る。
-------	--

申請者	利用補助券	補助券発行枚数
166 人 (前年度比-8人)	374 枚 (前年度比±0枚)	811 枚 (前年度比-5枚)

##### ③ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進

(総事業費 3,100,193 円)

事業の目的	ひとり暮らしの高齢者の家庭に乳酸菌飲料の配達を通じて訪問し、安否確認と孤独感の解消に努め、在宅福祉の向上を図る。
-------	--

利用者	配達本数	状況確認	緊急対応
延 3,762 人 (月平均 314 人)	延 43,533 本 (前年度比-3,201 本)	143 件 ※配達時に不在のため詳細確認	0 件

#### ④福祉機器・介護用品展示室の開設

事業の目的	介護を容易にするための福祉機器や介護用品などの情報を提供し、在宅福祉の向上を図る。
-------	---

利用者数
延 50 人 (前年度比－30 人)

### 5. 組織体制の強化

#### (1) 会務の運営

##### ①理事会の開催

開催日	議 題
令和 4 年 6 月 9 日 (木)	(報告事項) <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長職務の執行状況について</li> <li>・会長専決事項について</li> </ul> (1) 令和 3 年度宇都宮市社会福祉協議会第 3 次収支補正予算  (議事) <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 3 年度宇都宮市社会福祉協議会事業報告について</li> <li>・令和 3 年度宇都宮市社会福祉協議会収支決算について</li> <li>・宇都宮市社会福祉協議会定款の一部改正 (案) について</li> <li>・宇都宮市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について</li> <li>・宇都宮市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について</li> <li>・宇都宮市社会福祉協議会評議員会の招集について</li> </ul>
令和 4 年 6 月 23 日 (木)	(議事) <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇都宮市社会福祉協議会副会長の選任について</li> <li>・宇都宮市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について</li> </ul>
令和 4 年 10 月 26 日 (水)	(報告事項) <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長及び常務理事の職務執行状況について</li> <li>・会長専決事項について</li> </ul> (1) 令和 4 年度宇都宮市社会福祉協議会第 1 次収支補正予算について ・(仮称) 第 5 次宇都宮市地域福祉活動計画策定の進捗状況について
令和 4 年 12 月 8 日 (木)	(報告事項) <ul style="list-style-type: none"> <li>・(仮称) 第 5 次宇都宮市地域福祉活動計画策定の骨子及び取り組み事業について</li> </ul>

<p>令和5年 3月8日(水)</p>	<p>(報告事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長専決事項について</li> <li>(1) 令和4年度宇都宮市社会福祉協議会第2次収支補正予算</li> <li>(2) 宇都宮市社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規程の一部改正</li> </ul> <p>(議事)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第5次宇都宮市地域福祉活動計画の策定について</li> <li>・宇都宮市社会福祉協議会定款の一部改正について</li> <li>・宇都宮市社会福祉協議会役員等の費用弁償に関する規程の一部改正について</li> <li>・宇都宮市社会福祉協議会経理規程の一部改正について</li> <li>・宇都宮市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について</li> <li>・令和5年度宇都宮市社会福祉協議会事業計画について</li> <li>・令和5年度宇都宮市社会福祉協議会収支予算について</li> <li>・令和5年度宇都宮市社会福祉協議会役員等賠償責任保険契約の締結について</li> <li>・宇都宮市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について</li> <li>・宇都宮市社会福祉協議会評議員会の招集について</li> </ul>
<p>令和5年 3月23日(木)</p>	<p>(議事)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇都宮市社会福祉協議会副会長の選任について</li> <li>・宇都宮市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について</li> </ul>

## ②監事会の開催

開催日	議 題
<p>令和4年 5月24日(火)</p>	<p>(監査)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業執行及び会計処理について</li> </ul>

## ③評議員会の開催

開催日	議 題
<p>令和4年 6月23日(木)</p>	<p>(議事)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度宇都宮市社会福祉協議会事業報告について</li> <li>・令和3年度宇都宮市社会福祉協議会収支決算について</li> <li>・宇都宮市社会福祉協議会定款の一部改正について</li> <li>・宇都宮市社会福祉協議会役員を選任について</li> </ul>
<p>令和5年 3月23日(木)</p>	<p>(議事)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第5次宇都宮市地域福祉活動計画について</li> <li>・宇都宮市社会福祉協議会役員を選任について</li> <li>・宇都宮市社会福祉協議会定款の一部改正について</li> <li>・宇都宮市社会福祉協議会役員等の費用弁償に関する規程の一部改正について</li> <li>・令和5年度宇都宮市社会福祉協議会事業計画について</li> <li>・令和5年度宇都宮市社会福祉協議会収支予算について</li> </ul>

#### ④評議員選任・解任委員会の開催

開催日	議 題
令和 4 年 6 月 9 日 (木)	(議事) ・評議員の選任について
令和 4 年 6 月 23 日 (木)	(議事) ・評議員の選任について
令和 5 年 3 月 9 日 (水)	(議事) ・評議員の選任について

## (2) 苦情解決体制

### ①第三者委員会の開催

事業の目的	市社協が提供する福祉サービスへの苦情を適切に解決するとともに、福祉サービスに対する利用者の満足度を高め、利用者個人の権利の擁護と、サービス提供者としての信頼及び適正性の確保を図る。
-------	--

開催日	議 題
令和 4 年 9 月 20 日 (火)	(報告事項) ・宇都宮市社会福祉協議会における苦情解決制度の概要について ・宇都宮市社会福祉協議会事業概要について ・令和 3 年度苦情等の状況について 〔苦情件数〕 5 件 (前年度比-4 件) ・職員の対応・接遇に関すること 4 件 ・その他 1 件
令和 4 年 12 月 5 日 (月)	(議事) ・老人福祉センターことぶき会館利用者からの苦情等の申出について

## (3) 地区社会福祉協議会との連携強化

### ①地区社会福祉協議会会長会議の開催

開催日	議 題
令和 4 年 4 月 14 日 (木)	・令和 4 年度宇都宮市社会福祉協議会「会員会費募集」について ・「栃木県知事表彰」「栃木県共同募金会会長表彰」被表彰候補者の推薦について ・令和 4 年度「各種申請書等」の提出について
6 月 15 日 (水)	・令和 4 年度日赤社資募集運動の実施について ・令和 4 年度敬老会助成金の交付申請について
9 月 7 日 (水)	・令和 4 年度「赤い羽根共同募金運動」の実施について ・令和 4 年度「地域歳末たすけあい募金運動」の実施について

## ②ブロック別地区社会福祉協議会会長会議の開催

開催日	議題
○中央ブロック 令和5年1月19日(木)	(報告事項) ・令和4年度ブロック別福祉協力員研修会について ・令和4年度ブロック別ふれあい・いきいきサロン連絡会研修会について ・令和4年度地区社会福祉協議会会長研修について  (説明事項) ・第5次宇都宮市地域福祉活動計画の策定について ・ぎんなん基金助成対象事業の本導入について
○東部ブロック 1月20日(金)	
○西部ブロック 1月16日(月)	
○南部ブロック 1月18日(水)	
○北部ブロック 1月17日(火)	

### (4) 職員の育成

#### ①職員研修の実施

事業の目的	職員育成方針に基づき、職員のスキルアップと職業人としての人間力及び組織力の向上を図る。
-------	---

取組み内容	開催日
令和4年度宇都宮市社会福祉協議会 新規採用職員研修	令和4年 4月19日(火) 4月22日(金) 4月26日(火)
令和4年度社会福祉協議会初任者職員研修会(県社協主催)	令和4年 5月26日(木) 6月2日(木) 6月15日(水) 7月25日(月) 8月5日(金) 8月25日(木) 9月2日(金)
危機管理研修「災害時の3者連携支援を考える研修」	令和4年 10月14日(金)

## 6. 自主財源の確保

### (1) 社会福祉協議会会員制度の充実

事業の目的	市社協の理念や活動に賛同し、地域福祉の推進を財政的に支援していただける市民や企業・団体などの会員の充実に努める。
-------	--

取組み内容		
地区社会福祉協議会や自治会の協力を得て、市社協事業の普及啓発と、地域福祉事業を推進するための会員会費（自主財源）の確保に努めた。		
会員種別	会費実績額	前年度比
普通会員 (各世帯)	31,333,716 円	-175,644 円
特別会員 (個人)	63,000 円	+8,700 円
団体会員 (社会福祉施設、団体など)	401,000 円	-34,890 円
賛助会員 (企業、事業所、個人など)	2,330,000 円	+210,000 円
合計	34,127,716 円	+8,166 円

### (2) ぎんなん基金事業の充実

#### ① ぎんなん基金の運用

事業の目的	社会福祉を振興するための財源として、ぎんなん基金の安全な管理と効果的な運用を図る。
-------	---

取組み内容		
・ 寄附の状況		
種別	寄附金額	前年度比
個人	920,711円	+62,148円
企業	435,236円	+265,015円
団体	1,792,815円	+1,111,327円
募金箱	481,344円	+76,419円
合計	3,630,106円	+1,514,909円
・ 募金箱の設置 市内のスーパー、銀行など86箇所に設置（前年度比 -1箇所）		

## ②ぎんなん基金運営委員会の開催

開催日	議 題
令和 5 年 2 月 15 日 (水) 【書面開催】	(報告事項) ・令和 4 年度ぎんなん基金の状況について ・令和 4 年度ぎんなん基金の取組み実績及び取組み課題について ・ぎんなん基金助成対象事業の本導入について (協議事項) ・ふれあい会食助成事業「配食型への助成期間の延長」について ・令和 5 年度ぎんなん基金の取組みについて

## 7. 介護保険事業等の推進

### (1) 訪問介護事業所の運営

(総事業費 22,033,431 円)

#### ①訪問介護事業

事業の目的	要介護者の心身の特性を踏まえて、入浴、排せつ、食事の介護、その他の生活全般にわたる援助を行う。
-------	---

#### 介護度別利用者内訳 (延人数、延利用回数)

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
63 人	135 人	42 人	27 人	12 人	279 人
458 回	1,718 回	577 回	328 回	53 回	3,134 回

(前年度比 -121 人 -657 回)

#### ②介護予防訪問介護事業

事業の目的	要支援者の心身の特性を踏まえて、入浴、排せつ、食事の介護、その他の生活全般にわたる援助を行う。
-------	---

#### 介護度別利用者内訳 (延人数、延利用回数)

要支援 1	要支援 2	事業対象者(※)	合計
99 人	193 人	24 人	316 人
584 回	1,292 回	112 回	1,988 回

(前年度比 -99 人 -583 回)

※事業対象者：地域包括支援センターが行う基本チェックリストにより、生活機能の低下が見られ、要支援となる恐れがある高齢者。

**(2) 通所介護事業所の運営****(総事業費 19,841,778 円)****①通所介護事業 (河内事業所で実施)**

<b>事業の目的</b>	要介護者などの心身の特性を踏まえ、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。
--------------	--

**介護度別利用者内訳 (延人数、延利用回数)**

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
66 人	49 人	14 人	23 人	0 人	152 人
740 回	501 回	273 回	341 回	0 回	1,855 回

(前年度比 -12 人 -41 回)

**②介護予防通所介護事業の運営 (河内事業所で実施)**

<b>事業の目的</b>	要支援者などの心身の特性を踏まえ、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。
--------------	--

**介護度別利用者内訳 (延人数、延利用回数)**

要支援 1	要支援 2	事業対象者(※)	合計
19 人	44 人	12 人	75 人
79 回	329 回	46 回	454 回

(前年度比 +57 人 +324 回)

※事業対象者：地域包括支援センターが行う基本チェックリストにより、生活機能の低下が見られ、要支援となる恐れがある高齢者。

### (3) 居宅介護支援事業所の運営

(総事業費 9,077,723 円)

#### ①居宅介護支援事業

事業の目的	要介護者の心身の特性を踏まえて、居宅介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、その計画に基づく介護サービスが適正かつ円滑に提供させるようその進行を管理する。
-------	---

#### 介護度別居宅サービス計画作成内訳（延件数）

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3
98 件	166 件	139 件	246 件	79 件
要介護 4	要介護 5	事業対象者 (※)	合計	
42 件	27 件	0 件	797 件	

(前年度比 -170 件)

※事業対象者：地域包括支援センターが行う基本チェックリストにより、生活機能の低下が見られ、要支援となる恐れがある高齢者。

### (4) 障がい福祉サービス事業の運営

事業の目的	利用者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、入浴、排せつ及び食事の介護、調理、洗濯及び掃除などの家事、生活などに関する相談及び助言並びに外出時における移動の介護その他の生活全般にわたる援助を行う。
-------	---

居宅介護（ホームヘルプサービス） （延人数、延利用回数）	生活介護（デイサービス） （延人数、延利用回数）
・利用者数 176 人（前年度比+3 人） ・利用回数 2,013 回（前年度比+17 回）	・利用者数 26 人（前年度比+2 人） ・利用回数 349 回（前年度比+3 回）

### (5) 特定相談支援事業所の運営

事業の目的	障がい児・者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、サービスなどの利用計画・障害児利用支援計画の作成やモニタリング、相談支援を実施する。
-------	---

計画作成	モニタリング
・指定特定相談支援 56 件 ・指定障害児相談支援 7 件 合計 63 件(前年度比-6 件)	・指定特定相談支援 220 件 ・指定障害児相談支援 17 件 合計 237 件(前年度比-20 件)

## 8. 指定管理施設の管理・経営

### (1) 総合福祉センターの管理・経営 (2施設)

(指定管理期間：平成31年4月1日～令和6年3月31日)

事業の目的	児童、障がい者及び高齢者などの福祉の増進並びに市民の活動による地域福祉の推進を図るための施設として、福祉に関する社会奉仕活動の推進や社会福祉団体の育成、団体の活動の場を提供する。
-------	---

#### ①宇都宮市総合福祉センター

(総事業費 84,064,294円)

	種別	利用状況	前年度比
利用状況	開館日数	304日	±0日
	会議室など	延 50,626人 延 4,316団体	-21,284人 -344団体
	健康器具	延 1,198人	+167人

#### ②河内総合福祉センター

(総事業費 63,275,096円)

	種別	利用状況	前年度比	
利用状況	開館日数	294日	-1日	
	会議室など (団体室、ボランティア室 朗読室含む)	延 7,830人 延 478団体	+2,228人 +116団体	
	送迎バス	延 59人	-123人	
	広間など	21,847人	+3,832人	
	浴室	60歳以上	13,158人	+1,862人
		60歳未満	96人	+9人
		障がい者	1,804人	+353人
子ども		7人	-9人	
健康器具	延 8,576人	+1,362人		

(2) 老人福祉センターの管理・経営 (5施設)

(指定管理期間：平成31年4月1日～令和6年3月31日)

(総事業費 230,732,588 円)

事業の目的	高齢者が健康で明るい生活を営むために必要な各種相談や健康の維持増進、教養の向上及びレクリエーションなどの便宜を総合的に図る。
-------	--

①ことぶき会館

	種別	利用状況等	前年度比
利用状況	開館日数	278 日	+137 日
	利用者数	延 53,707 人	+26,924 人
	送迎バス	延 2,673 人	+1,186 人
健康相談など	血压測定	3 人	-3 人
	健康相談	81 人	+44 人
	応急処置	3 人	-5 人
	健康器具利用	12,943 人	+6,666 人
教養講座	講座数	12 講座	±0 講座
	開催回数	延 240 回	+116 回
	参加者数	延 2,488 人	+1,145 人
年間行事など	ことぶき文化祭	中止	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため
	健康講話	中止	
	地域小学校との交流会	中止	
	ことぶき健康みんなの大学	19 回	+12 回
	にこにこ体操教室		
	健康チェック、肩こり・腰痛体操教室	10 回	-2 回
その他	○臨時休館 ・令和3年11月2日～令和4年4月18日：空調設備工事のため  ○文化祭中止に伴う代替事業 ・作品展示会、舞台発表（令和4年10月1日～11月30日）		

## ②ふれあい荘

	種別	利用状況等	前年度比
利用状況	開館日数	293 日	+34 日
	利用者数	延 34,539 人	+7,368 人
	送迎バス	延 1,089 人	+133 人
健康相談など	血圧測定	106 人	-8 人
	健康相談	132 人	-1 人
	応急処置	30 人	+10 人
	健康器具利用	13,787 人	+3,353 人
教養講座	講座数	12 講座	±0 講座
	開催回数	延 231 回	+3 回
	参加者数	延 2,201 人	+284 人
年間行事など	ふれあい荘文化祭	中止	新型コロナウイルス 感染症の感染防止のため
	花見演芸大会	中止	
	納涼演芸大会	中止	
	健康講話	中止	
	囲碁将棋自主講座 交流大会	中止	
	ボランティア団体などの 受入（映画観賞会）	中止	
その他	○文化祭中止に伴う代替事業 ・作品展示会、舞台発表（令和4年10月1日～11月30日）		

### ③やすらぎ荘

	種別	利用状況等	前年度比
利用状況	開館日数	292 日	+33 日
	利用者数	延 26,051 人	+2,237 人
	送迎バス	延 2,553 人	+368 人
健康相談など	血圧測定	231 人	-63 人
	健康相談	232 人	-66 人
	応急処置	4 人	-1 人
	健康器具利用	14,296 人	+2,348 人
教養講座	講座数	14 講座	+2 講座
	開催回数	延 315 回	+84 回
	参加者数	延 3,294 人	+995 人
年間行事など	やすらぎ荘文化祭	中止	新型コロナウイルス 感染症の感染防止のため
	健康講話	中止	
	敬老の日地域中学校 演奏会及び交流会	中止	
	地域小学校との交流会	中止	
	ボランティア団体などの 受入（映画鑑賞）	中止	
その他	○文化祭中止に伴う代替事業 ・作品展示会、舞台発表（令和4年10月1日～11月30日）		

#### ④すこやか荘

	種別	利用状況等	前年度比
利用状況	開館日数	293 日	+34 日
	利用者数	延 38,273 人	+3,815 人
	送迎バス	延 1,874 人	-508 人
健康相談など	血圧測定	9 人	+2 人
	健康相談	37 人	-1 人
	応急処置	25 人	+17 人
	健康器具利用	11,905 人	-760 人
教養講座	講座数	13 講座	+1 講座
	開催回数	延 287 回	+69 回
	参加者数	延 3,029 人	+520 人
年間行事など	すこやか荘文化祭	中止	新型コロナウイルス 感染症の感染防止のため
	健康講話	中止	
	ボランティア団体などの 受入（軽音楽演奏会）	中止	
	地域幼稚園との世代間 交流事業	11 月 11 日実施	
その他	<p>○備考 ことぶき会館の空調整備改修工事による休館に伴い、ことぶき会館送迎バスを活用して送迎を行った。 (運行日 7 日、利用者数延 37 人)</p> <p>○文化祭中止に伴う代替事業 ・作品展示会、舞台発表（令和 4 年 10 月 1 日～11 月 30 日）</p>		

⑤上河内

	種別	利用状況等	前年度比
利用状況	開館日数	243 日	+28 日
	利用者数	延 3,854 人	+405 人
健康相談など	血圧測定	0 人	±0 人
	健康相談	0 人	±0 人
	応急処置	0 人	±0 人
	健康器具利用	456 人	+10 人
教養講座	講座数	15 講座	+1 講座
	開催回数	延 116 回	+31 回
	参加者数	延 651 人	+127 人
年間行事など	上河内老人福祉センター まつり	中止	新型コロナウイルス 感染症の感染防止のため
	健康講話	中止	
その他	○まつり中止に伴う代替事業 ・作品展示会（令和 4 年 10 月 1 日～11 月 30 日）		



### (3) 地域活動支援センターの管理・経営 (3施設)

(指定管理期間：平成31年4月1日～令和6年3月31日)

事業の目的	障がいがあるため雇用されることが困難な方に、通所による生産活動の機会を提供するほか、日常生活訓練や社会適応訓練、職業指導訓練などを行い、障がい者の社会参加と自立の推進を図る。
-------	---


#### ①雀の宮作業所

(総事業費 雀の宮作業所・若草作業所 49,856,599円)

	利用状況	前年度比
開所日数	245日	+7日
利用登録者数	19人	±0人
利用者数	延 3,796人	+174人
生産活動の 機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電機部品の組立</li> <li>・菓子箱の組立</li> <li>・シール貼り</li> <li>・文書の封筒詰め</li> <li>・各種製品箱詰め、袋詰め</li> <li>・ダンボール製品組立</li> <li>・ダイレクトメール封入作業 など</li> </ul>	
社会参加・ 自立促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会見学</li> <li>・クリスマス会</li> <li>・新年の集い</li> <li>・消防訓練</li> <li>・いちご一会とちぎ大会ステージ発表</li> <li>・雀宮地域文化祭への参加</li> <li>・うつのみやふれあい文化祭への参加</li> </ul>	
事業の様子	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲作業の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲野外レクリエーション</p> </div> </div>	

#### ②若草作業所

	利用状況	前年度比
開所日数	244日	+2日
利用登録者数	13人	±0人
利用者数	延 2,652人	-86人
生産活動の 機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玩具部品の組立</li> <li>・菓子箱の組立</li> <li>・文書の封筒詰め</li> <li>・ラベルシール貼り</li> <li>・各種製品箱詰め、袋詰め</li> <li>・ダンボール製品組立</li> <li>・取扱説明書封入作業 など</li> </ul>	
社会参加・ 自立促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会適応訓練</li> <li>・クリスマス会</li> <li>・新年の集い</li> <li>・館外レクリエーション</li> <li>・わくわく工作会</li> <li>・お楽しみ会食会</li> <li>・避難誘導訓練</li> <li>・うつのみやふれあい文化祭への参加など</li> </ul>	



事業の様子		
	▲作業の様子	▲社会見学 (作業受注している工場を見学)

### ③障がい者福祉センター

(総事業費 37,457,269 円)

事業の目的	利用者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、通所により機能訓練や社会適応訓練の機会を提供し、地域生活支援の促進を図る。
-------	---

#### ア. 講座事業

	利用状況等		前年度比等
利用登録者数	91 人		-5 人
講座	講座数	15 講座	±0 講座
	開講回数	284 回	+3 回
	参加者数	延 1,150 人	+42 人
年間行事など	作品展 (市役所市民ホール、松が峰ギャラリー、市民プラザでの作品展示)		
	うつのみやふれあい文化祭 ／わくわくアートコンクール in うつのみや		審査員特別賞 1 人 わく・わく賞 4 人
	宇都宮市民福祉の祭典への参加・作品展示		
	地域活動支援センターとの交流会 (センター交流会・クリスマス会)		新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止
講座の様子			
	▲スローエアロビク体操講座	▲パンフラワー講座	
その他	○臨時休館 (利用者等の新型コロナウイルス感染のため) ・令和 4 年 7 月 26 日 ・令和 4 年 11 月 16 日～18 日		

## イ. 地域活動支援センター事業

	利用状況等		前年度比
利用登録者数		11 人	±0 人
医療生活相談	開催回数	1 回	+1 回
	利用者数	1 人	+1 人
年間行事など	音楽療法		/
	レクリエーション (誕生会、節分会、ひな祭り)		
	宇都宮市民福祉の祭典への参加		
	外食訓練		
	料理実習		
	野外療育訓練		新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止
講座事業との交流会 (センター交流会、クリスマス会)			

### (4) 指定管理施設の管理・経営の充実

#### ①事業経営委員会の開催

開催日	議 題
令和 5 年 2 月 15 日 (水)	(報告事項) ・令和 4 年度指定管理事業及び介護保険事業等の経営状況について  (協議事項) ・令和 5 年度指定管理事業及び介護保険事業等の取組みについて

## 9. 受託事業の実施

### (1) 宇都宮市からの受託事業

#### ①日中一時支援事業の実施

(総事業費 9,233,348 円)

事業の目的	障がい者などの日中における活動の場を提供し、見守りを実施する。
-------	---------------------------------

取組み内容				
施設名	区分	開所日数	定員	利用者延人数
あっとほーむ・うだい (平成 19 年 7 月 12 日受託)	放課後支援型	241 日	10 人	763 人
(前年度比 -309 人)				
※令和 5 年 3 月 31 日をもって事業終了。				

## ②各種奉仕員養成講座の実施

(総事業費 1,964,645 円)

### ア. 手話奉仕員養成講座

事業の目的	聴覚に障がいのある方に対し、手話によるコミュニケーション支援を行う手話奉仕員を養成する。
-------	--

実施コース	内 容	開催日	受講人数
入門過程 基礎課程	手話の基礎知識と実技 手話の応用知識と実技	令和4年5月 ～令和5年3月 毎週水曜日 (全40回)	延239人 (前年度比 -229人)

### イ. 点訳奉仕員養成講座

事業の目的	視覚に障がいのある方に対し、本などの印刷物を点字にして、点字による情報提供を行う点訳奉仕員を養成する。
-------	---

実施コース	内 容	開催日	受講人数
入門過程 中級課程	点訳の基礎知識と実技 点訳の応用知識と実技	令和4年5月 ～令和5年3月 毎週火曜日 (全40回)	延386人 (前年度比+386人)

### ウ. 音訳奉仕員養成講座

事業の目的	視覚に障がいのある方に対し、本や印刷物を朗読し、テープなどに録音して、音声による情報提供を行う音訳奉仕員を養成する。
-------	--

実施コース	内 容	開催日	受講人数
初級過程 中級課程	音訳の基礎知識と実技 音訳の応用知識と実技	令和4年5月 ～令和5年3月 毎週水曜日 (全35回)	延344人 (前年度比+15人)

## ③宇都宮市意思疎通支援事業（要約筆記者派遣事業）の実施

(平成18年10月1日受託)

(総事業費 425,842 円)

事業の目的	聴覚障がい者などを対象に、日常生活を営む上でコミュニケーションを必要とするときに、要約筆記者を派遣し、社会参加を円滑にする。
-------	--

派遣依頼数	活動筆記者数
23件 (前年度比 -10件)	44人 (前年度比 -21人)

**④宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の実施**

(平成 26 年 6 月 25 日受託) (総事業費 21,937,766 円)

※前掲：12P 参照

**⑤生活困窮者自立相談支援事業の実施 (平成 26 年 6 月 25 日モデル事業受託)**

(平成 27 年 4 月 1 日受託) (総事業費 44,987,000 円)

※前掲：20P 参照

**⑥地域包括支援センター事業の充実**

ア. 地域包括支援センター御本丸 (平成 18 年 4 月 1 日受託)

(総事業費 37,143,749 円)

※前掲：21P 参照

イ. 上河内地域包括支援センター (平成 19 年 4 月 1 日受託)

(総事業費 24,872,716 円)

※前掲：22P 参照

**⑦移動支援事業の実施 (平成 18 年 10 月 1 日受託)**

事業の目的	屋外での移動が困難な障がいのある方の外出や余暇活動などの社会参加の際に、訪問介護員が外出の支援を行う。
-------	---

利用状況	
利用者数	0 人
(前年度比	±0 人)

## (2) 栃木県社会福祉協議会からの受託事業

### ①生活福祉資金等貸付事業の実施

(総事業費 31,033,878 円)

事業の目的	低所得者世帯などに対して、低金利または無利子での資金の申請と必要な援助指導を行い、経済的自立や生活意欲の向上・社会参加の促進を図る。
-------	--

#### 取組み内容

- ・相談件数 延 3,596 件 (前年度比 -6,354 件)
- ・申請状況など

資金種別		申請件数
生活福祉資金	総合支援資金	0 件
	福祉資金 (福祉費)	9 件
	福祉資金 (緊急小口資金)	3 件
	教育支援資金	9 件
	不動産担保型生活資金	1 件
臨時特例つなぎ資金		0 件
合 計		22 件 (前年度比 +4 件)

- ・新型コロナウイルス感染症を踏まえた生活福祉資金貸付制度における特例貸付  
※令和 2 年 3 月 25 日事業開始

資金種別		令和 4 年度 申請件数	延べ申請件数
生活福祉資金	緊急小口資金	456 件	7,444 件

緊急小口資金：令和 4 年 9 月 30 日受付終了

資金種別		令和 4 年度 申請件数	延べ申請件数
生活福祉資金	総合支援資金 (初回)	443 件	6,022 件
	総合支援資金 (延長)	0 件	2,638 件
	総合支援資金 (再貸付)	0 件	3,875 件
合 計		443 件	12,535 件

総合支援資金 (初回) : 令和 4 年 9 月 30 日受付終了

総合支援資金 (延長) : 令和 3 年 6 月 30 日受付終了

総合支援資金 (再貸付) : 令和 3 年 12 月 31 日受付終了

### ②日常生活自立支援事業「あすてらす事業」の実施

【栃木県社会福祉協議会からの受託事業 (平成 11 年 10 月 1 日受託)】

(総事業費 10,772,302 円)

※前掲：18P 参照

## 10. その他

### ① 日本赤十字社栃木県支部宇都宮市地区事務局

事業の目的	日本赤十字社栃木県支部宇都宮市地区として、日本赤十字社の活動を推進する。
-------	--------------------------------------

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

取組内容	実績等	前年度比
日赤活動資金（社資）	42,804,251 円	+472,645 円
災害救援物資の配付	16 件 (弔慰金対応 2 件)	+1 件
国内義援金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年 7 月豪雨災害義援金 1,462 円</li> <li>・令和 4 年 7 月大雨災害義援金 51 円</li> <li>・令和 4 年 8 月 3 日からの大雨災害義援金 3,380 円</li> </ul>	/
海外救援金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウクライナ人道危機救援金 407,388 円</li> </ul>	/

